

坂戸市立三芳野小学校学校だより

若葉



みよしのたのむの雁もひたぶるに
君が方によると鳴くなる
わが方によると鳴くなるみよしの
たのむの雁をいつか忘れむ(「伊勢物語」)

のびのびと生きる子…みんなと仲良くする子、よろこんで学ぶ子、しんけんに体をきたえる子
目指す学校像 ○一人ひとりが学校・地域を愛し、より良い自分をめざし、力を発揮する。
○一人ひとりが仲間から必要とされ、互いの良さを認め合う。

《不安感情について》

私たちが日常、不安を感じる場面はたくさんあると思います。子供たちも同様です。

「宿題がたくさんある。終わるかな。」「明日は〇〇がある。ちゃんとできるかな。」

不安や緊張が起こる場面などなくしてしまえばよいと考えたくなります。では、不安感情は悪いものなのでしょうか？不安感情は、良い、悪い、と捉えるべきではありません。大切なことは、色々な感情が起こることを当然と受けとめることや感情をどのように処理するのか経験することです。

では、不安感情の処理をどのようにすればよいのでしょうか？不安感情を抱えたまま、安心できる場で、感情を爆発せずに、自分で納める経験を積み重ねることです。子供が見守られている中で、気持ちが切り替わる経験をすることです。自分を納めるとは、感情を言葉にして表すことです。子供が何に不安を感じているのか、具体的に言葉で表し、それを周りの大人が受けとめてあげる経験を積み重ねることによって、自分を納めることができるはずで

子供の不安や困り感に寄り添うとき、関わる周りの大人の不安感情も大きく関係すると思います。気持ちの切り替えがなかなかできない子供の様子を見てみると、感情的になったり、不適切なかかわり方をしてしまったりすることは、誰しもあるかもしれません。

周りの大人が子供の不安感情をしっかりと受けとめることができる環境を整備していくことが健やかな子供の成長に大事だと考えています。

《『ひまわりの絆プロジェクト』について》

先日、駐在さんから「ひまわりの絆プロジェクト」というひまわりの種をいただきました。

「ひまわりの絆プロジェクト」とは、平成23年、京都府で発生した交通事故で亡くなった当時4歳の男児が、生前育てていたひまわりを、交通安全と命の大切さ、被害者支援への理解を深めることを目的として全国に広めている活動です。

プロジェクトの発端は次のとおりです。事故から2年後、担当した警察官が遺族を訪問したところ、「私たちの子供が生きた証を残したい。このひまわりがあちらこちらで咲けば、我が子も色々な所へ行けると思う。もう事故は嫌です。」という言葉とともに、種を受け取りました。

来春、本校でも種をまきます。夏には、たくさんのひまわりの花が咲くでしょう。



11.11 2年芋掘り



11.12 5・6年
薬物乱用防止教室



11.17 わくわくピクニック



11.19
さくら・たんぽぽ校外学習

令和3年12月1日 第9号